

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 069	提案機関名 神奈川県 湘南家畜保健衛生所
要望問題名 ホルスタイン種泌乳牛における過剰排卵処置時のFSH投与回数削減について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ホルスタイン種泌乳牛において、通常採卵あるいはOPU（FGTまたはSOV）実施前の過剰排卵処置（OPUでは排卵させないが）ではFSHを8回投与するため、牛へのストレスと作業者の負担が大きい。そこで、牛のストレス軽減と作業者の負担を軽減させるため、FSHの投与回数を削減させる方法を検討していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	徐放剤である水酸化アルミニウムゲルを溶媒としたFSHがすでに市販されており、単回投与による牛の過剰排卵処理が可能となっています。当所においては平成27年度より、黒毛和種を用いて過剰排卵処理の簡便化を他県等と共同で研究しており、従来の漸減投与法と同等の採胎成績が得られています。ホルスタイン種の場合は黒毛和種とは異なり、泌乳ステージの違い等を考慮する必要があり、黒毛和種の結果をそのまま当てはめるのは難しいと考えます。今後はホルスタイン種に応用できる手法について他県等と情報交換しながら課題設定できるかどうか検討したいと思います。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			